

日本遺産「日本最古の冒険物語『神武東遷』」 呉市の構成文化財

ふりがな 文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ
やたがらすじんじゃ 八咫鳥神社	未指定 有形文化財 (建造物)	<p>神社縁起によると、カムヤマトイワレビコがヤタガラスの導きにより、周辺の賊徒を平定したことから祀られたと記されている。</p> <p>また、八咫鳥神社が鎮座している休山は、イワレビコの東遷時にヤタガラスが休息したことから名付けられたという伝説が残る。山中には、八咫鳥神社奥の院があり、神秘的な空間を形成している。</p> <p>毎年 11 月 3 日には、八咫鳥神社例祭が行われており、神武東遷伝説が現在も受け継がれている。</p>
てんのうしや 天応社	未指定 有形文化財 (建造物)	<p>カムヤマトイワレビコは東遷に際して、安芸国に滞在して吉備国に向かったと伝わっている。</p> <p>この時、イワレビコが登ったことから天皇山と名付けられたと伝えられており、山上にはイワレビコの分霊を祀った天皇社が設けられたという伝説が残る。</p> <p>明治期に「皇」の字をはばかって、天応山、天応社に改めたと伝えられており、神武東遷にまつわる伝説が、「天応」という地名の語源になっている。</p>



八咫鳥神社（呉市宮原）



天応社（呉市天応）